

提出日：2017 年 6 月 15 日

クルーズサマリー

1. 航海情報

航海番号 KS-17-J08C

船舶名 新青丸

航海名称 東北津波域における海洋生態系変動メカニズムの解明

首席研究者〔所属機関名〕

国立研究開発法人 海洋研究開発機構

東日本海洋生態系変動解析プロジェクトチーム

渡邊 修一

課題代表研究者〔所属機関〕

国立研究開発法人 海洋研究開発機構

東日本海洋生態系変動解析プロジェクトチーム

土田 真二

研究課題名 東北津波域における海洋生態系変動メカニズムの解明

航海期間 平成 29 年 5 月 28 日～平成 29 年 6 月 15 日

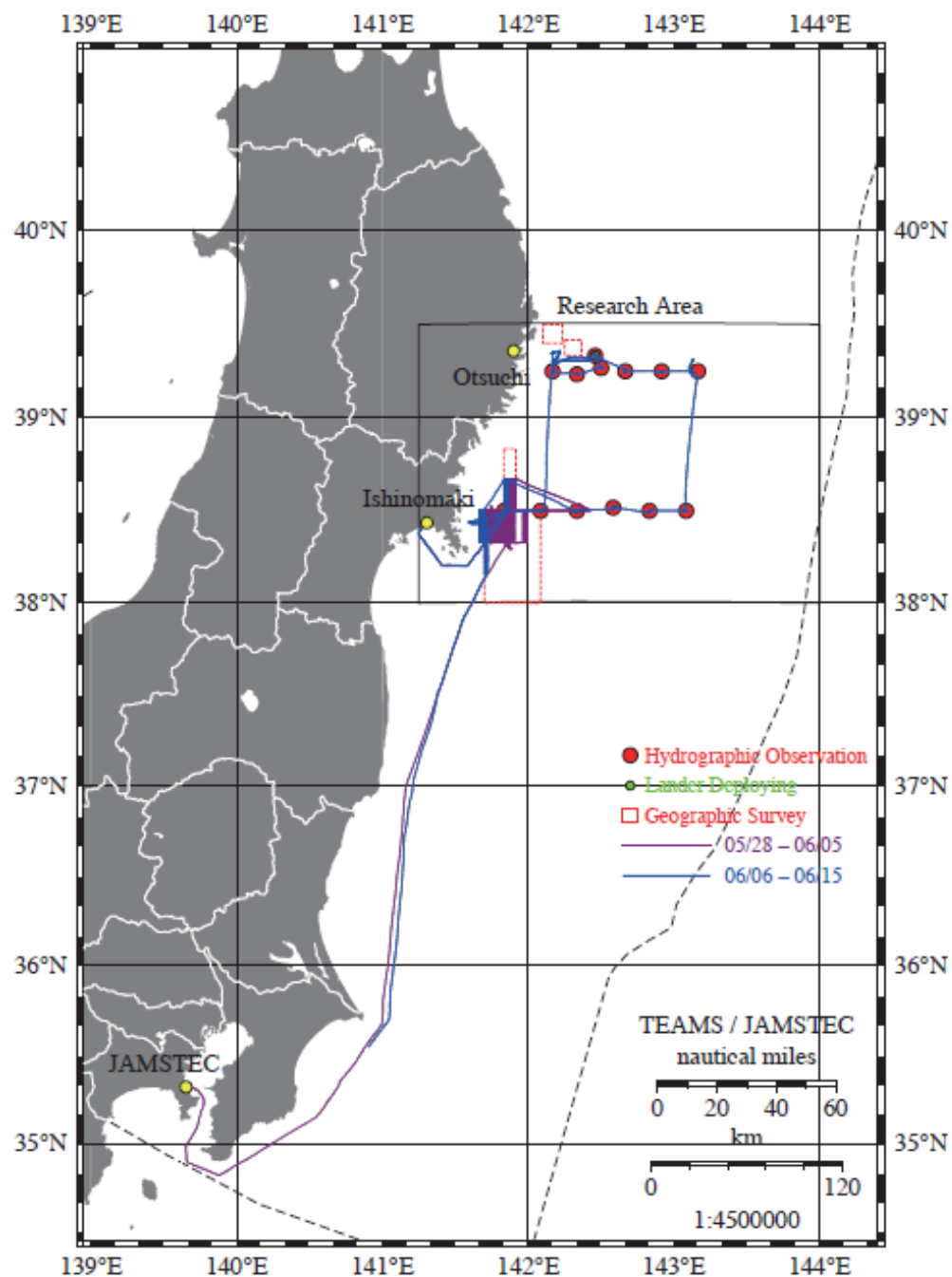
出港地～寄港地～帰港地

横須賀～石巻～横須賀

調査海域名 三陸沖

調査マップ

KS-17-J08C R/V Shinsei-Maru Ship Track. 2017/05/28 – 2017/06/15



2. 実施内容

調査概要

東日本海洋生態系変動解析プロジェクトは東北地方太平洋沖地震の被害から回復する過程を理解し、漁業の復興と持続可能な発展を支援するために、災害によって大きく変化した海洋生態系を調査・研究することを目的にしています。このプロジェクトの目標を達成するために、私たちのユニットである生態系モニタリングの研究ユニットでは、海洋環境の基本的な水塊構造の情報やその長期的な変化の観測、地理的調査などを行い、研究を行っています。

このクルーズでは、地震と津波後の三陸沿岸の詳細な地形図を作成するために、以前のクルーズでは覆われていなかった女川沖の地理的調査を行った。また、CTD システムを用いた観測を行い、13 地点で水塊構造に関する情報を取得し、生物学的・化学的成分分析のための海水試料を採取した。海底付近の海洋環境を長期的に監視するために、大塚沖の約 1,000m の深さにランダーを設置した。

プロジェクトの名称	東北マリンサイエンス拠点形成事業 沖合底層生態系の変動メカニズムの解明
-----------	--